

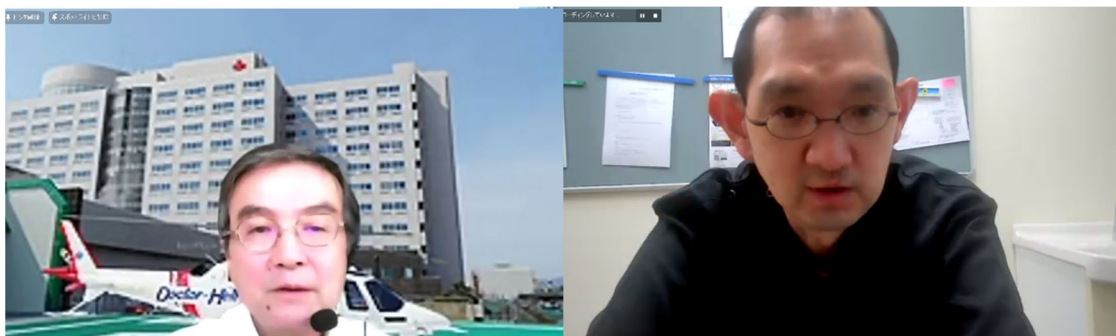
第 14 回 新潟こころの発達医学セミナー開催報告書

はじめに

新潟大学「こころの発達医学センター」は、こころの発達についての研究を進めているとともに、その啓発活動や発達医学領域の人材育成に努めています。その一環として、一般の方々、学生、研修医、医療・教育・福祉関係者を対象に、「新潟こころの発達医学セミナー」の第 14 回目を 2022 年 7 月 30 日に、オンライン形式にて開催しました。多くの聴講者が参加し、活発な議論が交わされ、この分野に対する社会的関心の高さが伺えました。

参加者内訳	(人)
医療関係者	42
教育関係者	46
福祉関係者	35
学生	3
一般	4
計	130

セミナーの様子



本セミナーではシンポジウム「新潟大学発達精神医学グループの取り組み」を新潟大学医歯学総合病院精神科講師の江川純先生を座長として行い、続いて特別講演「子どものゲーム依存？～予防と対策を考える～」を新潟大学医学部長・大学院医歯学総合研究科精神医学分野教授の染矢俊幸先生を座長に愛知県医療療育総合センター中央病院子どものこころ科部長の吉川徹先生を講師としてお招きして行いました。また、長岡赤十字病院小児科の田中篤先生、新潟大学医歯学総合病院精神科准教授の渡部雄一郎先生にそれぞれ開会および閉会のあいさつを頂きました。

シンポジウム 「新潟大学発達精神医学グループの取り組み」

演者

吉永清宏 先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄付講座 特任助教)

江川純 先生(新潟大学医歯学総合病院精神科 講師)

杉本篤言 先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座 特任准教授)

新潟大学精神医学教室の発達精神医学グループの3人の先生方からお話を頂きました。吉永先生からはインターネット・ゲーム障害脳機能イメージング研究について、杉本先生からはヒト脳イメージング研究についてと、新潟県の児童精神ケア体制の構築について、新潟県の児童精神科医の育成について、江川先生からは自閉スペクトラム症の脳機能解明を目指すサル研究についてご紹介頂きました。最新の研究や新潟県内の実情についてなど、様々なお話を聞くことができました。



特別講演

「子どものゲーム依存？～予防と対策を考える～」

吉川徹先生

（愛知県医療療育総合センター中央病院子どものこころ科 部長）



吉川先生はわが国を代表する児童精神科医で、昨年、子どもたちのゲームやネットに関するご著書を出版されました。今回はご著書の内容をご紹介頂くとともに、子どもたちのゲーム・ネットとの付き合い方、発達障害とゲーム・ネットとの関係、などについてお話頂きました。質疑の際の座長の染矢先生とのやり取りでも大変示唆に富むお話を頂きました。一般の方から専門職まで様々な人たちに分かりやすく、子どもたちがゲーム・ネットとどう付き合っていくべきか、どのように指導すべきかを考えるきっかけとなるお話を頂くことができました。

おわりに

以上、第 14 回セミナーの様子を簡単にご報告させていただきました。
今後も定期的にセミナーを開催し、子どものころに関する最新の知見や
新潟大学精神医学教室の研究内容などを皆様にお伝えし、
意見情報交換などを行える場として、
地域に根差した活動を行っていきたいと思っております。

主催

新潟ころの発達医学研究会

協賛

大塚製薬株式会社、塩野義製薬株式会社、吉富薬品株式会社、
ヤンセンファーマ株式会社、武田薬品工業株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、
持田製薬株式会社、株式会社ツムラ、住友ファーマ株式会社、
エーザイ株式会社、新潟大学協和会
(敬称略・順不同)